

令和8年度 第1回岡崎市有機農業推進懇談会 会議録

1 開催日時

令和8年7月22日（木） 14:00～16:00

2 開催場所

岡崎市役所西庁舎 7階704号室

3 出席者（敬称略）

（委員）

浦川 友紀：関係団体（Foods for Children岡崎代表）

鈴木 智：関係団体（岡崎安心野菜グループ）有機農業実践者（JAS）

平木 敦代：学校給食協会

藤山 尊司：関係団体（NPO法人おかざき農遊会）

矢田 哲臣：有機農業実践者（都市的地域）

山田 明日香：有機農業実践者（中山間地域）

谷川 彩月：学識経験者（人間環境大学）

梅村 篤志：有機農業実践者（中山間地域）（テーマ関係者）

（オブザーバー）

矢田 純枝：有機農業実践者（都市的地域）

（事務局）

農務課：板坂 英幸、杉山 聡、本多 公康、杉浦 一子

中山間政策課：河合 章好、小早川 侑、高野 瑞也

学校給食センター：酒井 啓滋

（傍聴者）

4名

4 会議次第

- (1) 挨拶
- (2) 令和7年度有機農業推進事業について
- (3) 令和8年度有機農業推進事業について

5 会議要旨

- (1) 令和7年度有機農業推進事業について、事務局から説明。

各委員意見

- ・有機農産物を意識して購入している人数について令和7年度調査したが、今後も定期

的に調査を行っていくのか。

(事務局)

時期を考慮し、調査することを検討していく。

- (2) 令和８年度有機農業推進事業について、事務局から説明。

各委員意見

- ・アイガモロボを実証し、水の管理を徹底しないと座礁しやすかった。アイガモロボを使用しないよりも、使用した方が草の密度は下がったと感じる。
- ・輸出は、飛行機や船での出荷となり時間がかかるため、生ものよりも乾物が向いていると思われる。また、輸出には原産地証明が必要で、その証明は商工会議所で手続きをする等、必要な事項が多々ある。
- ・雑草等をエネルギーへ変えていく方法は無いか？
- ・ダンボールコンポストは良い取り組みであり、岡崎市全体へ広めるためにも、学校での実施を検討できないか。

(事務局)

様々な場所でのダンボールコンポストの実施は、廃棄物処理法の関係で難しい面がある。今年度は、まず個人的に実施をしてもらい、今後徐々に広めていくこともできればと考える。

終了を宣言。